

看護系大学の助教の能力開発支援ツール

サブカテゴリ	到達目標 (助教就任から3年を目安に設定)	レベル1	レベル2	レベル3		
大学教員としての基礎	対人関係能力	職務における連絡・報告の対象と方法を理解し実践できる	報告する対象や方法について不足や誤りを指摘されることが多い	支援を受けて適切な対象に適切な方法で報告できる	適切な相手に適切な方法で報告できる	
	情報処理能力	組織における自己の役割を理解し実践できる	自己の役割を理解し、指示されたことができる	自己の役割を理解し支援を得て動くことができる	期待されている役割を理解し指示なく動ける	
		委員会など大学運営において積極的に役割を果たす	指示された役割を果たせる	大学運営上の役割を理解し、支援を受けて役割を果たせる	大学運営上の役割の意義を理解し、主体的に役割を果たせる	
	看護実践能力	所属部署内外の教職員と自ら積極的にコミュニケーションをとる	限定された教職員の中のみコミュニケーションが取れる	必要なコミュニケーションが取れる	積極的にコミュニケーションが取れる	
		情報システム・機器を活用できる	支援を受けて活用できるが時間がかかる	支援を受けて活用できる	自立的に活用できる	
	自己啓発・自己教育力	教育活動に必要な看護実践の知識・技術を主体的に学習できる	助言・指示に従って不足する知識や技術を学習している	助言を受けながら不足する知識や技術を学習している	不足する知識・技術について主体的に学習している	
教育実践力	自己啓発・自己教育力	教育活動に必要な看護実践能力を有している	専門領域の標準的なケアを提供できる	学生にとって専門領域の看護実践のロールモデルとなれる	専門領域外の教授活動に必要な看護実践ができる	
	職業倫理	学内外に自己の職業上の問題を相談できる人的ネットワークを持つ	相談できる人を探している、もしくは組織が割り当てたメンターがいる	学内に相談できる人がある	学内外に人的ネットワークがある	
		職業生活上の短期・長期目標を持つ	支援を受けて短期目標を持つ	支援を受けて短期目標またはおぼろげな長期目標を描いている	長期目標・短期目標を持っている	
	授業設計	職業倫理	倫理的感受性を高めるための自己研鑽に取り組む	看護実践上の倫理的課題は説明できる	教育／実践における倫理的課題を説明できる	教育／実践における倫理的課題を説明でき、倫理的課題の対処につなげている
		授業設計	ディプロマポリシー (DP)やカリキュラムポリシー (CP)、学生のレディネスを理解し、担当科目の目標設定ができる	支援を受けて担当科目の適切な目標設定ができる	担当科目に期待されている標準的な学習目標を設定できる	DPやCP学生のレディネスを考慮して学習目標を設定できる
			教育目的に適した授業設計ができる	授業設計の基本的知識を説明できる	支援を受けて授業設計ができる	目的に応じて異なる授業設計ができる
授業展開		概念と現象を関連付けて学生が理解できるための教材を作成できる	支援を受けて教材を作成できるが、概念の理解を促進しないものもある	支援を受けて概念と現象の関連がある教材を作成できる	概念と現象を関連付けて学生が理解できるための教材を作成できる	
教育評価	学習活動で遭遇する現象を適切に教材化できる	支援を受けて教材化できる現象を選択できる	教材化できるが活用のタイミングを逃すこともある	学習活動で遭遇する現象を適切に教材化できる		
	授業展開	概念と現象の関連について、論理的かつ臨場感をもって説明できる	支援を受けて説明できるがやや論理的でない	支援を受けて論理的に説明できる	概念と現象の関連についてわかりやすく論理的に説明ができる	
臨床実習における学習支援力	研究成果を教授活動に織り込むことができる	研究成果を上手く教授内容に反映できないこともある	他者の研究成果を教授活動に織り込むことができる	自己/他者の研究成果を教授活動にうまく織り込むことができる		
	教育評価	担当科目の目標に基づき学生の到達度を評価できる	多くの支援を受けて学生の評価ができる	支援を受けながら学生の到達度を評価できる	学生の到達度を適切に評価できる	
	臨床実習における学習支援力	学生の学習状況査定に基づき意欲や主体性を促す指導ができる	多くの支援を受けて学生学習状況を査定できるが、意欲や関心を引き出す技術が不足している	支援を受けて学生の学習状況を査定でき、意欲や関心を引き出す取り組みをしている	学生の学習状況を査定し、意欲や主体性を引き出す指導ができる	
		ケアの対象者を理解し看護過程展開を指導できる	多くの支援を受けながら看護過程展開の指導をしている	看護過程展開の指導ができるが助言が必要な時もある	看護過程展開の指導ができる	
		実習カンファレンスを効果的に運営できる	支援を受けながらカンファレンスを運営できる	支援を受けながら効果的にカンファレンスを運営できる	効果的にカンファレンスを運営できる	
		学生の実習上の問題や必要に応じて個人的な問題に対応し報告できる	実習上の問題は支援を受けながら対応でき、個人的な問題は上司に相談できる	個人的な問題も含めて課題を把握でき、支援を受けながら対応できる	学生の実習上の問題や必要に応じて個人的な問題に対応でき、適切に報告できる	
実習施設との関係調整能力	実習中の学生、患者の安全を守る	支援を受けながら学生と患者の危険がある程度予測することができる	支援を受けながら、学生と患者の危険がある程度予測し、危険を回避するためのおおまかな計画を立て行動できる	学生と患者の危険がある程度予測し、危険を回避するためのおおまかな計画を立て行動できる		
	実習指導者との関係調整能力	実習指導において実習指導者との役割分担、協働ができる	支援を受けながら、臨床実習指導者と協働できるが、柔軟性に欠ける	支援を受けながら、臨床実習指導者との役割分担、協働をしている	臨床実習指導者との間である程度の役割分担を決め、協働できる	
		学生の学習保証と患者への倫理的配慮を調整できる	多くの支援を受けながら調整できる	支援を受けながら調整できる	学生の学習保証と患者への倫理的配慮の意味を理解し、調整ができる	
		臨床状況における学生の立場を擁護できる	多くの支援を受けながら、学生の立場を擁護できる	支援を受けながら、学生の立場を擁護できる	学生の立場を擁護でき、必要時上司などに相談できる	
大学の教育内容と実践レベルのギャップに対応できる	多くの支援を受けながらギャップを埋めるための対応をする	支援を受けながらギャップを埋めるための対応をする	ギャップを埋めるための対応方法がある程度理解し、具体的な対応につなげている			
研究能力	自己の研究テーマとフィールドを持つ	支援を受けながら研究テーマをみつけようとしている	研究テーマをもち、研究フィールド (リソース) を開拓している	独自の研究テーマとフィールド (リソース) をもっている		
	学内外の共同研究に参加し、研究の知識や技術を得る	指示を受けて学内外の共同研究に参加する機会を得ている	学内外の共同研究に参加し、研究の知識や技術を学んだことがある	学内外の共同研究に参加し、研究の知識や技術を得ている		
	学会や研修会に積極的に参加し、学術研究の視野を広げる	興味のある学会や研修会を探して、助言を求めることができる	学会や研修会に参加し、学術研究の基本的知識を得ている	学会や研修会に参加し、学術研究の視野を広げている		
	学内の研究助成や外部の研究資金に積極的に応募する	多くの支援を受けて応募する準備を進めている	支援を受けながら応募している	主体的に応募している		
社会貢献	自大学の理念に基づき社会貢献活動ができる	社会貢献活動の意義を理解している	指示された範囲で社会貢献活動に参加している	自大学の理念を理解し、社会貢献活動に参加している		
	看護の社会的役割や特質を用いて社会に貢献できる	看護職として社会に貢献する方策について考察できる	指示された範囲で社会貢献活動に参加している	看護の社会的役割や特質を用いて社会貢献活動に参加している		
	自大学が地域社会のリソースとして活動することに貢献できる	自大学の活動の意義やその方策を学習中である	指示された範囲で自大学の活動に参加している	自大学の活動に主体的に貢献している		
	企業や行政機関との連携事業に貢献できる	連携事業の意義を理解している	連携事業に、指示された範囲で参加している	連携事業に役割をもって参加している		
学生支援	学生相談の体制、教員の役割、責任範囲を理解して学生を支援できる	多くの支援を受けながら学生を支援している	支援を受けながら学生を支援できる	学生相談の体制、教員の役割や責任の範囲を一定程度理解し、学生を支援できる		
	国家試験受験に関わる支援ができる	多くの具体的な支援を受けながら学生を支援している	支援を受けながら学生を支援できる	自立して学生を支援できる		
	キャリア形成に関して学生を支援できる	キャリア形成支援の方法を学んでいる	支援を受けながら学生を支援できる	自立して学生を支援できる		
自己認識	自己のアイデンティティと教員としてのアイデンティティの近接度合い	全く一致していない 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 非常に近接している				